

村政を問う 一般質問 8

夏の平地観光客入り込みの推移は
堀之内地区、反田地区の県道整備は
ごみ減量化を優先し、現有施設の活用を
歓迎すべき優良な投資とは
決意をもってお願いに行くつもりは

はろば
白馬
議会だより
86号

平成19年度一般会計決算を認定 1

平成20年第3回定例会 3

陳情の審査結果 7

おらが里づくり 14

わたしのひとこと 15



国際色豊かな飯田区のお祭り

総額45億3788万円

平成19年度一般会計決算を認定

決算特別委員会の 主な審議内容

●平成19年度一般会計歳入歳出決算
認定

健全財政プロジェクトを目標に、
財政調整基金・減債基金取り崩しの
半減やハード事業の縮小『創るから
護る』への転換を推進し、基金を取り
崩さずに決算ができました。

問 事務事業評価制度導入によっ
て、住民サービスは向上されたの
ですか。

低下させないよう進行中です。

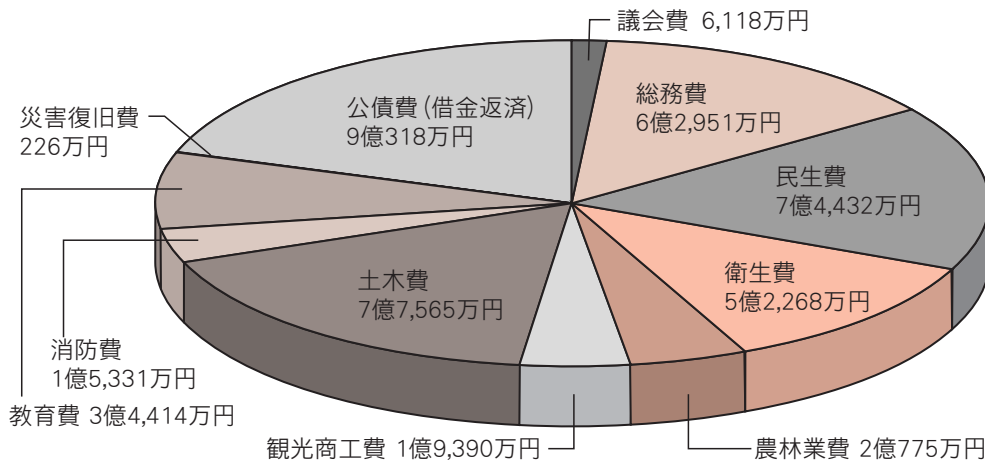
答 公共施設について、減価償却を
勘案した会計処理はできないので
すか。

答 平成23年度から実施する予定
で、準備をしています。

問 スキー選手育成基金を取り崩し
て育成会資金に当てたが、今後の
資金対策は。

一般財源で対応したい。

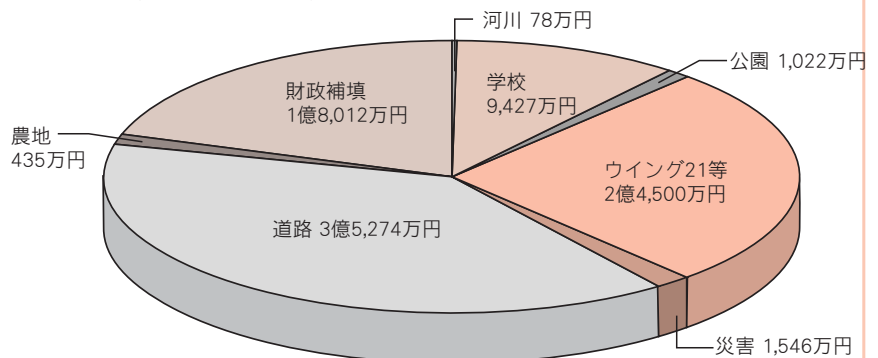
目的別支出(歳出)決算状況



問 答

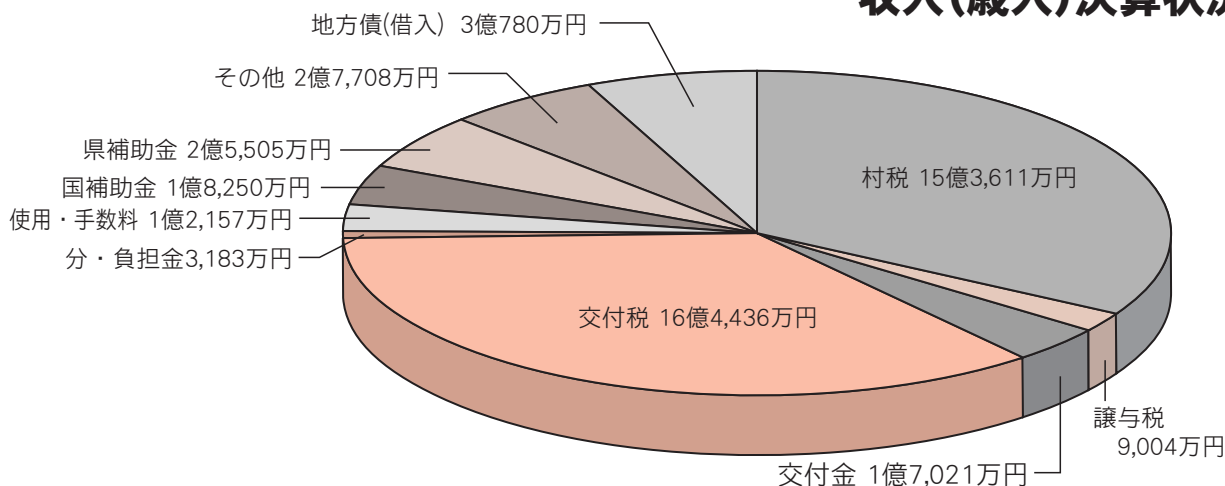
神城山麓線工事の進捗状況は。
用地取得を鋭意進め、平成22年
度完成予定です。

公債費(借金返済)内訳



どう使われたか! 歳出

収入(歳入)決算状況



問 除雪請負金額が1業者に偏っていますか。

答 路線延長、重機保有台数、請負区域に差があるため、請負金額にも差が生じます。

問 ごみ処理広域化推進費の内容は。

答 広域連合の件費、調査費、広報費など当村の負担金です。

問 必要な場所に、公衆トイレがありませんか。

答 来期予算で検討したいと思っています。

問 多額の不納欠損処分をしていますか。

答 執行停止から3年経過した滞納の時効、競売に係る処分について処理したが、不公平感のあることは承知しています。

問 収納率県下ワースト1。現状から脱却すべき対策として、公表条例は考えていますか。

答 氏名の公開は、個人情報問題を整理しなければなりません。
▽ 賛成8・反対1で本案は認定と決定。

●平成19年度国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定

国保は他の税より優先しているが、滞納増加であり改善に向けて手立てを講

ずるべきです。

▽ 賛成全員で本案は認定と決定。

●平成19年度老人保健医療特別会計歳入歳出決算認定

本会計は、翌年度清算分が発生するため、残ります。

▽ 賛成全員で本案は認定と決定。

●平成19年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

上水道の使用量が下水道の使用量となるが、井戸水を使用している場合に不明瞭な取扱いがあります。滞納者には停水通知を出して、納金するまで止水すべきです。

▽ 賛成8・反対1で本案は認定と決定。

●平成19年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

新規加入の推進に努めるべきです。

▽ 賛成8・反対1で本案は認定と決定。

●平成19年度水道事業会計決算認定

使用口数や使用量の減など、現状と変動推移をシミュレーションした資料を作成のうえ、検討すべきです。

▽ 賛成8・反対1で本案は認定と決定。

平成20年第3回定例会

9月9日から18日間開催

一般会計・特別会計補正予算の議案	3件
条例制定の議案	2件
条例・規則の一部改正の議案	5件
一般会計・特別会計・企業会計決算認定	6件
陳情	6件

本会議での討論

●ふるさと白馬村を応援
する条例の制定

反対討論（小林英雄）

国や県の政治的貧しさにすべて起因していると思えます。スポーツ振興、環境、農業、産業文化、地域教育こういったものが4つに区分されて書かれています。安易な条例化に反対します。

賛成討論（下川辰男）

「白馬を応援したい」という寄附者の意向を反映できる事業に充てるものです。生まれ故郷を離れても、その地域に貢献したいという寄附者の真意を受け止めて、元気ある地域づくりを進めていくということです。ですので、原案に賛成します。

●地域高規格道路松本糸魚川連絡道路早期着工促進に係る陳情

反対討論（渡辺俊夫）

村、県など地方自治体はもとより国家においても財政は行き詰まった状態にあり、社会保障、医療、教育にこそ優先すべきであるとする、将来の不安を抱える人々の懸念も理解するところです。早期着工促進の前に、今一度様々な角度から住民による「持続可能な社会づくり」を標榜しながらの議論の場が必要であると考えます。この陳情に反対をします。

意見（下川正剛）

渡辺俊夫の名前は、「地域高規格道路松本糸魚川連絡道路」早期着工促進白馬村実行委員会の名簿に掲載されています。

賛成討論（松澤徹男）

地域高規格道路の実現は、長年にわたる村民の悲願です。近年、高度医療の充実は都市部に集中する傾向にあり、住民の生命に関わる緊急医療の動線及び夜間の国道沿いの騒音回避対策に高規格道路は是非必要です。更に、低迷する観光面にも貢献すると確信していますので、早期建設を願ひ、賛成をします。

●平成19年度一般会計
歳入歳出決算認定

反対討論（渡辺俊夫）

村税の収入未済額9億3717万円余、（不納欠損額4851万円余）2884万円余の大幅な増大であり、滞納処理を含め必要な施策を講ずるべきです。支出では土木費46%の増（神城山麓線等）であり、支出全体としては、重点施策に掲げた「ハード事業の縮小」「創るから護るへの転換」が、名ばかりだけのもの

賛成討論（柏原孝至）

3月の予算特別委員会で慎重審議して認めたことであります。その後の事業につきましても、すべて補正予算で認めています。すべての事業に関して行政側も枠内配分方式で、不必要なものは削るという厳しい姿勢で望んでいますし、不必要な事業は行われていないと考えています。

であり、住民サービスも低下しています。



反対討論（渡辺俊夫）

受益者負担金の収入未済額
1億4928万円余、前年比

**●平成19年度下水道事業
特別会計歳入歳出決算
認定**



テレビカメラが導入された議場

1534万円余増大している。一般会計からの繰入金と村債の合計が、収入の67・9%を占めており、前年対比6・4%の増加です。また、支出の公債費率は、87・1%を占めており、前年対比0・

1%増加していて、一向に財政健全化が図られておらず、事業としては破綻状態のままです。長期的な視野に立っての対策を早急に講ずるべきです。

**●平成19年度農業集落排水
事業特別会計歳入歳出決
算認定**

反対討論（渡辺俊夫）

繰入金が収入の約3分の2を占めている。一方支出の公債費率は、75・9%を占めていて、前年対比4・1%増加している。使用料及び手数料は、ともに減少になっている。長期的な視野に立っての対策を早急に講ずるべきです。

賛成討論（柏原孝至）

白馬村全域で公共下水道整備が進むなか、各末端の小さな集落は、資金不足のために水洗化を望めない状態になっています。行政の公平の観点からも、この農業集落排水事業特別会計への繰入金は、適正と考えます。

**●平成19年度水道事業会計
決算認定**

反対討論（渡辺俊夫）

5434万円余の膨大な未収金は、前年比160万円余増加であり、昨年に引き続き147万円余の巨額不納欠損金を計上している。事業としては、破綻状態といえるなか、営業収益は減少のままです。長期的な視野に立っての対策を早急に講ずるべきです。

**●北アルプス広域連合が白
馬村飯森地区に計画の中
ごみ処理施設の建設につ
いての住民投票に関する
条例の制定**

賛成討論（渡辺俊夫）

早急なる決断をするべきではないかと思えます。投票以外に住民の合意形成はあり得ません。

**●新ごみ処理施設建設の賛
否を問う住民投票条例制
定の陳情**

賛成討論（渡辺俊夫）

早急に決断して、住民の合意形成を行うべきで、その手法としては投票以外にはないと考えます。

**●北アルプス広域連合が計
画している新ごみ処理施
設建設計画の3巡目の住
民説明会の開催を求める
陳情**

賛成討論（渡辺俊夫）

住民があらゆる機会、相当な時間を通して議論を尽くすべきだと考えます。

反対討論（池田和良）

過去二回説明会が開催されたが、人は集まりませんでした。必要なところは場所々々で考えていただき、三巡目の説明会に関しては必要がないと思います。

このような審議がありました

総務社会委員会

ふるさと白馬村を 応援する条例を制定

● ふるさと白馬村を応援する条例の制定

白馬村のまちづくりを賛同する方々の寄附金を財源として、個性豊かで活力あるふるさとづくりに資する目的の条例です。

問 どのような方法で、広報をしますか。

答 長野県のホームページ及び観光情報センターを活用します。また、東京・名古屋・大阪において「白馬村を応援する会」（仮称）等の組織作りを検討しています。

問 寄附の支払い方法等について、ATM・インターネットの活用はできませんか。また、海外からの送金は、どのような

にするのですか。

答 ATMは、県内どこも使用していいので、何か支障があるのではないかと思います。インターネットでは、文章表現を入れる考えです。海外からの送金は、日本に居住している方に、仲介してもらうこととなります。

▽ 賛成4・反対1で本案可決と決定。

● 平成20年度一般会計補正予算

問 一般管理事業に顧問弁護士委託料とあるが、村には顧問弁護士がいるのではないかと具体的な訴訟内容は、勝訴した場合の裁判費用は。

答 顧問弁護士は、定額費用分と案件による費用分の二本立てとなっております。今回の補正は案件による費用分であり、訴訟内容は、観光局の検証に対する訴訟であります。勝訴した場合の裁判費用は、相手方の負担となりますが、

成功報酬は別に支払うことになると思います。

問 塵芥処理事業の生ごみ堆肥化の委託先は。

答 安曇野市穂高のグリーンフレンドリーに委託の予定です。

問 村内で処理をする考えはありませんか。

答 村内で堆肥化する業者があれば、運搬費等含めて安い業者に発注したいと思っています。

▽ 賛成全員で本案可決と決定。

● 平成20年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

8980万円（主に療養給付費を追加し、歳入歳出それぞれ13億254万円とするものです）。

問 療養給付費負担金返納金とは。

答 精算により国へ返すお金です。支出金は前年度の金額を見て算出します。

▽ 賛成全員で本案可決と決



景観づくりにも使われるふるさと納税（大出吊橋）

定。

● 平成20年度老人保健医療
特別会計補正予算

1463万円（主に老人療養
給付費）を追加し、歳入歳出
それぞれ7682万円とする
ものです。

▽ 賛成全員で本案可決と決
定。

産業経済委員会

● 平成20年度
一般会計補正予

庄屋まるはち 12月中旬オープン

問 算 海外観光客
誘致事業の内容

答 は。 古民家「庄
屋まるはち」で
外国人が日本文

化（そば文化）に触れる事業
です。

問 完成はいつですか。

答 11月末までに完成させ、
12月中旬オープンの予定です。
▽ 賛成全員で本案可決と決
定。



完成まじか「庄屋まるはち」

慶安三年（一六五）

四月、松本藩から大町
組塩島新田開発の請書
が認可され、開拓事業
によって開発された集
落が、現在の新田地区
である。

「横沢家」は、嶺方よ
り新田に移住し、松本
藩の庄屋として四ヶ庄
平（北城村）を治め、屋
号を「丸八」という、嘉
永の頃、二代目横沢本
衛は、耕作を手広く行
い、麻問屋を営み、関
西・名古屋にまで出向
いて商売を展開した。
郡下でも富豪として繁
栄し、大町に出る時、北
城地区内で他人の土地
を踏まずに行けたとい
う大地主であった。明
治36年長野四区から衆
議院議員に当選。
（宮田豊美氏の文献より）

ごみ処理施設 特別委員会

住民投票条例 継続審査

● 北アルプス
広域連合が白馬
村飯森地区に計
画中のごみ処理
施設の建設につ
いての住民投票
に関する条例の
制定（継続審査

案件）

提出された条例案は、修正
すべき事項の検証と、内容の
精査が必要です。

▽ 賛成2、継続審査7で本
案継続審査と決定。

● 北アルプス広域連合が計
画している新ごみ処理施設建
設計画の3巡目の住民説明会
の開催を求める陳情

3巡目の説明会を継続して
も、住民との健全で有効的な
質疑を議することは困難です。
▽ 採択2、不採択6、趣旨
採択1で本件不採択と決定。

● 9 月定例会議決結果 ●

件 名	議決結果
ふるさと白馬村を応援する条例の制定	可決（賛成 8）
認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	可決（賛成全員）
公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正	
平成20年度一般会計補正予算（第 2 号）	
平成20年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第 2 号）	
平成20年度老人保健医療特別会計補正予算（第 1 号）	
特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部改正	
議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	
議会会議規則の一部改正	
北アルプス広域連合が白馬村飯森地区に計画中のごみ処理施設の建設についての住民投票に関する条例の制定	継続審査 （継続賛成 8）
平成19年度一般会計歳入歳出決算認定	認定（賛成 8）
平成19年度国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定	認定（賛成全員）
平成19年度老人保健医療特別会計歳入歳出決算認定	
平成19年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定（賛成 9）
平成19年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	
平成19年度水道事業会計決算認定	

● 陳 情 文 書 ●

平成20年第 3 回白馬村議会定例会にて審議

提出者	住所	要 旨	所管委員会	審査結果
「白馬新ごみ処理施設を考える」連絡協議会 会長 宮田 温巳	白馬村	新ごみ処理施設建設の賛否を問う 住民投票条例制定の陳情	ごみ処理 施設特別 委 員 会	継続審査（継続賛成 8）
長野県医療団体連絡懇談会 県難病患者連絡協議会 会長 田中 嘉典 他 3 団体	長野市	老人医療費給付事業の継続を求め る陳情	総務社会 委 員 会	不採択（原案賛成 1）後期高齢 者医療制度を認めている以 上、採択は問題があります。
地域高規格道路松本系魚川 連絡道路早期着工促進白馬 村実行委員会 会長 丸山 敏夫	白馬村	地域高規格道路松本系魚川連絡道 路早期着工促進に係る陳情	産業経済 委 員 会	採択（賛成 8）早期着工促進は 長年の悲願であり、3 月に県 議会・県知事に意見書を提出 しています。
中信地区私学助成推進協議 会 会長 浜 行雄	塩尻市	私立高校に対する大幅公費助成を お願いする陳情	総務社会 委 員 会	趣旨採択（全員）白馬高校生支 援を抱えており、財政的にも 困難であるので、趣旨採択に 留めるべきです。
協同労働ネットワークなが の 代表 相良 孝雄	松本市	「協同出資・協同経営で働く協同組 合法」（仮称）の速やかな制定につ いて意見書の提出を求める陳情	産業経済 委 員 会	趣旨採択（全員）労働者が不利 益にならないよう、問題点を 調査研究することが必要では ないか。
白馬新ごみ処理施設を考え る連絡協議会 会長 宮田 温巳	白馬村	北アルプス広域連合が計画している 新ごみ処理施設建設計画の 3 巡目の 住民説明会の開催を求める陳情	ごみ処理 施設特別 委 員 会	不採択（原案賛成 2） ※特別委員会参照

一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村政を問う 活力ある 村づくりをめざして



応援も必死 村民運動会



統合され初めての運動会 (しろうま保育園)

観光問題

問 夏の平地観光客入り込みの推移は

答 7月増・8月減、累計では微減



池田和良議員

【観光振興】

問 県内を訪れる観光客の8割は、マイカーやバスなどの自動車を利用しています。道の駅を観光拠点化した平地観光の、今後の対策は。

村長 平地観光客の減少は、総合的に見て8月中旬以降の雨続きと、原油高騰も一因ではなかったかと考えます。白馬アルプス花三昧が6年目を迎え、イベントとして定着しており、雨の影響はあったものの前年並みでした。長期滞在観光として3年目の「ふぉーゆー白馬」が好

調で、現在予約も含め前年比1・7倍です。

問 県内の道の駅は、全国で3番目に多く、中信地区で14カ所、大北地区でも5ヶ所あります。特産品など特色ある駅の充実と平地観光の目玉は。

村長 情報発信と誘客宣伝の拠点とする「信州の道ホットインフォーメーション大作戦」の取り組みを展開しています。道の駅や各温泉施設・各観光施設を活用した観光商品づくりが必要と考えます。今年度から、大系線沿線地域が協力し「安曇野・北アルプスゆう浪漫」を推進します。

問 地域高規格道路について、秋までに起点を含め、ルート案を示すということですが、現状はどうなっていますか。

村長 県からは、秋を目安に最良の案と比較検討した複数の案を関係機関に示したうえで、県が公表するという説明です。

問 スキー場もインターから30分位で来られるよう要望されています。雇用確保の面からも道路の対策は何より必要だと思いますが。

村長 県も従来と同様の説明に終始しています。明に開始しています。が、村として要望活動はできる限り行います。

問 命名権 県は新たな自主財源の確保策として、県有施設に企業名や商品名を付ける命名権の販売・募集を始める方針を明らかにしました。白馬のジャンプ台はどう対応しますか。

村長 オリンピックのエンブレムが付けられてお



道の駅夢白馬

り、命名権を販売する場合は、IOCの許可が得られなくなり外さなければなりません。村としても五輪マークがなくすることは考えられず、販売は難しいと思われます。

【ごみ問題】

問 ごみ処理施設は必要です。飯森を建設候補

地として、事業促進を要望する署名活動が続いています。次の調査ができるよう進めてほしいと思いますが、賛成署名をもって、前に進めることは考えていません。全体的な民意を問うプロセスを経て、次の段階があると思います。

村長

道路問題

問 堀之内地区、反田地区の県道整備は

答 ルート案を中心とした予備設計済



柏原孝至議員

【歩道設置及び道路整備】

問 堀之内（平林建設）より青具トンネルまで建設事務所、道路改良計画策定に伴う測量をしていただきましたが、その後どのようになっていますか。

まず改良に向けての扉が開かれたことになりまして、地元の皆様の協力をいただきながら、強く要望していきたくと考えています。

村長

まず改良に向けての扉が開かれたことになりまして、地元の皆様の協力をいただきながら、強く要望していきたくと考えています。

【ごみ処理施設建設】

問 6月議会で現在の候補地に否定的な意見が



事故発生（反田地区）

でた場合、村長は広域連合に戻して検討する方針を示しました。白馬で否定されて広域連合に戻すことは、他の市村

との住民の感情的な対立になり、正当な納得できる理由がないと戻せないと思いますがいかがですか。

村長

建設候補地は、白馬村の何処でも良いと広域連合が決定したわけではないので、飯森地区がダメになった時は、広域連合に戻るのが筋であります。

問

ごみ処理施設がどこにできても、ごみ収集は行政の責任だと思えますがいかがですか。

村長

ごみ収集は行政の責任です。

問

村内で村民合意できる場所に、候補地を変更してはいかがでしょうか。

村長

現時点において飯森は、村内唯一の候補地であると断言します。村内に他の適地はありません。

問

民意の確認は、住民アンケートですか、住民投票ですか。

村長

どちらかに最終的には決断するつもりですので、今しばらく時間をいただきたいと思っています。

問

現地での環境アセスメント調査費用は、どのくらい掛かりますか。

環境課長

どの場所を調査しても、5500万円以内

上はかかります。

【観光活性化】

問

大雪溪上部の土砂崩落事故で登山者2名が亡くなりましたが、今後、このような事故が起きないように、山岳観光の安全をどのように確保し、誘客を進めますか。

村長

登山道での完璧な安全確保は不可能です。できるだけ安全に登山していただくために、村・山案内人・山小屋関係者等が協力し合い努力しています。登山については、あくまで自己責任においての情報収集や安全確保が必要との世論形成も進めていきたい。

【鳥獣被害対策】

問

近年鳥獣による作物への被害が大変増えています。対策はどのように考えていますか。

村長

年々被害が増加傾向にあるため、県や専門家の意見を聞きながら対処していきたい。

ごみ問題

問 ごみ減量化を優先し、現有施設の活用を

答 広域連合でやることにメリットがある



小林英雄議員

【新ごみ処理施設建設】

問

大町市の荒井民生部長は、「大町のプラントは平成22年が寿命ではない。」と明言しています。また、白馬の施設は32年頃まで使用可能であり、厳しい財政状況を直視し、現有施設をできるだけ長く使用すべきです。観光客の減少などもあり、もっと減量化に取り組むべきではないですか。

村長

ごみの減量化は当然のことであり、建設用地が決定すれば、用地買収費・工事費について再検討し、焼却能力が過大であれば、適正



ごみ処理施設完成イメージ

規模に変更することも可能です。広域連合で建設すること

により、ハード・ソフト面のメリットが生まれます。

問

村長は、議会冒頭あissaつで「議決」とか「承認」の言葉を頻繁に使っています。どの様に区別しているのですか。昨年2月23日緊急全員協議会で、村長から「最終候補地が飯森に決まった」との報告がありましたが、どちらですか。

村長

議案として提出されたものが「議決」（地方自治法第96条の項目）であり、全員協議会や委員会でも賛否を問ひ、でた結果が「承認」（法第96条以外）となります。よって、飯森が最適地であると、承認されています。

問

村長あissaつの「情報」がすべて万全に発信されたとは思わない」と言われたが、断片的な発信は混乱を招くだけで、住民にも議員にも情報公開は不十分だったと思います。

村長

断片的な情報ということではなく、広域連合でごみ処理施設建設決定以降の情報について、量・質がすべて満たされていたとはいえないが、間違った情報は提供していません。

問

広域連合は、情報を積極的に公開せず、求められてようやく公開することが多かったと思います。「最終的な絞り込みができるまで発表せず、発表されれば、そこを適地として尊重しよう」との考え方が問題です。飯森とするかどうかは、村民が決めるべきです。

村長

情報提供は、積極的に行ってきたつもりです。

問

村長は「飯森地区が戻るのが筋であり、再度村での候補地は難しいと考えるのが当然」であるとして、村に施設が欲しいと考える住民に「飯森でも仕方がない」と思わせる発言です。「再度」を撤回する考えはありませんか。

村長

村内のほかの候補地が、不適と判断されたことにより、飯森地区以外に村には候補地がないと考えるのが妥当なことです。

開発問題

問 歓迎すべき優良な投資とは

答 地域の皆さんが納得いく開発



渡辺俊夫議員

【分譲マンション建設】

問 外国人による外国人のための投機を目的とした分譲マンション建設が、村内にも計画されようとしています。

村長 優良な投資を受け入れることは、地域のグレードアップを図り、ハイソサエティーな外国人観光客に満足される真のリゾートを目指すきっかけになり得ます。勿論、環境基本条例、その他の各種開発ルールに沿ったものを建てていただくことを大前提としていくことは当然の

ことです。

問 「優良な投資」また「投機」とは。

村長 白馬が好きで、そして地域とも連携を深めながら、地域の皆さんが納得いくような形でここに投資をし、経営していくというのが優良な投資、ただ単に建設をし、売り抜けるのは投機と思っています。

問 2年前の新聞記事に「規制緩和を求める陳情が環境審議会の答申を元に不採択となった。村は、当面、改正せず現状の中で対応してもらおう考え」とありますが。

村長 現在の開発基本条例を遵守していきます。

問 開発審議会が重要な役割を担っています。が、この4月にメンバーの一部が変わっています。どのような基準で選考されているのでしょうか。

課長 任期2年で、議員4名・各種関連団体からの推薦及び県自然環境保全研究所・地方事務所建築主事が委員です。今回は、できるだけ若い方の推薦をお願いしました。

問 選考基準に関してどう考えますか。

村長 格段選定に誤りがあり、問題提起がなされた等は聞いていませんので、地域性にあった選定がされたと思っています。

問 選考に村長はどのように関わったのでしょうか。

村長 個人については、特段指示をしていません。

課長 人物本位で選んでもらっており、私は、今度の環境審議会の人選は、素晴らしいものであると思っています。

【公共事業のあり方】

問 大型公共事業は、縮小・高齢化が著しい村にとって、将来に大きな負担を強いることになります。新

ごみ処理施設建設計画などをこの観点から見直すべき時に来ていますが。

村長 村の財政が危機的状況にあることを十分認識し、収入の確保、経常的経

費の節減に努める一方、各種施策の優先順位について厳しい選択を行い、財源について計画的な配分に徹しています。

問 (建設)賛成署名が区の行政の回覧で行われたと聞きましたが事実ですか。

村長 区でやったとは聞いていません。



分譲マンション建設で景観と人の暮らしが一変した湯沢町

ごみ問題

問 決意をもってお願いに行くつもりは

答 時期は稲刈り後と考えています



太谷正治議員

【ごみ処理場建設計画】

問 ごみ処理場建設を広域で行った場合と、白馬山麓施設組合で建設した場合の負担金の違いとメリットは。

村長

◎広域の場合
白馬村負担…3億3000万円

あくまで、単純計算で割った場合。一世帯当り(3500世帯)…9万4000円
一人当り(9200人)…3万6000円

◎白馬山麓施設組合の場合

白馬村負担…7億3500万円

あくまで、単純計算で割った場合。一世帯当り(3500世帯)…21万円

一人当り(9200人)…8万円

◎メリット

・広域化は、1人当たり約4万円、1世帯当たり約11万円の軽減となります。

・これまでどおりの搬入形態をとることができます。

・“焼却残さ”最終処分が、所在地区の合意が得られたなら、安定的に大町の処分場で引き受けてもらえます。

・維持管理費等、白馬村の負担は軽くなります。

問

反対署名5000人(51・2%)、賛成署名3200人の内容精査を行政で行うつもりはありますか。

村副長

それぞれの思いを書き留めたものであり、住民基本台帳との照合はしません。

問

建設予定地の地元へ、決意をもってお願いに行くつもりはありますか。

村長

理解をしていただくようお願いに伺います。時期は稲刈り後と考えています。

【観光計画】

問

雪渓ルート事故によるルート変更と今後の対策は。

村長

新ルートは3年前に使用したルートであり、短時間で現場を通行できるよう、できるだけ水平にしました。赤岩周辺の崩落対策については、国に要望しています。

問

観光局長新任に伴うビジョンはありますか。

村長

観光局長より観光ビジョンの提言があり、理事会の承認を得て、会員及び議員の皆さんにお示しいと思います。

【分譲地開発】

問

八方地区と和田野地区の間に15000、25000坪の用地について、外国人向け高級別荘地として販売計画が進められています。この計画に対する行政指導はありますか。

村長

建設水道課と環境課で指導をしています。開発を計画している大部分は下水道区域外ですので、下水道加入への推進をしています。また、雨水排水対策として、相手方の費用負担で、一部八方区が水路改修工事を行います。

問

マンション建設についてはいかがですか。和田野地区とは相当数の会合を重ね、調停案も提示しています。具体的な計画が示されていないため、風評という言葉だけで捉えてもらいたくありません。情報では、コンドミニアム(マンション)は28ユニット3階建と聞いていますが、外国人から駄目ではなく、和田野地区の景観に相応しいかどうかというところを見極めたい。判断していただきたい。

環境課長



白馬山麓清掃センター(八方)

追跡レポート

こないだ聴いたことあり
どうなったかやあり

問

「障害者」の「害」をひらがなに改める考えは。

答

障害者の皆さんが望むならば、順次切り替えていきます。

その後

9月1日から「害」という漢字の否定的なイメージを考慮し、障がい者の人権をより尊重するという観点から、行政公文書・啓発資料・広報誌・行政ホームページ等において、「障害者」を「障がい者」の表記に改めました。(条例・規則等は除く)

問

白馬に温泉があることを知らないお客様が多いので、もっと看板等で温泉を売り出す必要があると思います。

答

温泉を売り出す必要性はありますので、観光局の事業として取り組みをしていきます。

その後

白馬駅前に案内板を設置しました。

おらが里づくり

飯田老人クラブ会長 横川 常美



花壇が整備された犬川沿い

白馬村が誕生して、五十二年が経過しました。美しい景観に恵まれた白馬村は、スキーを中心としたスポーツ観光地、また四季を通しての快適なリゾートとして脚光を浴び今日に至りました。1998年には、冬季オリンピックの会場地として、一躍世界の白馬として有名になりました。

このような白馬村を、第二の故郷として移住する村民が増え、飯田区でも「白馬の森」を中心に六十軒余が新しい区民の方であります。

はじめは、古い慣習の道普請や河川

互いに協力して地域づくりを進めることで、飯田区は村を代表する近代集落として衣替えしたように思います。

観光面で「白馬五竜」は、冬のスキーと春から秋の山野草園で賑わい、村の通年観光の一翼を担っています。中山間地の補助事業で造成した自然園も、漸くホテルが飛び交うようになりまして、犬川両岸の花壇造りも着々と進められています。

新旧住民が、手を携えての地域づくりの成果に、更なる進展を期待しながら、ほっとしているこの頃であります。

敷の草刈り、区の経費の負担など、馴染めないことが多かったようですが、相互の話し合いや長い交流を経て祭りなどの伝統行事も含め、今は、ほとんど拘りはありません。先人達や毎年の役員の努力が実を結びました。新しい区民の中には、色々な技能経験、知識、アイディアを持った住民が多いようです。今、新旧住民が

夢、私たちに。 わたしのひとこと



生涯学習のお手本

佐野 松沢 増美

社会体育に関わり始めてから30年以上が過ぎましたが、その間に多くの人との出会いがありました。それぞれ楽しむ種目や年齢などは違えども、活力に満ちている人たちがばかりで、私が師事している「居合道」の師匠も、その中の一人です。ご子息の送迎で剣道の稽古会場へ顔を出すうちに、その指導者に誘われ剣道を始めたのが42歳でした。その数年後に居合も始められ、70歳の今では剣道五段、居合道は教師七段に昇段されております。更に師匠の歳は衰えを知らず、今年に入り臓器疾患の手術を受け、現在も放射線治療のため、毎日通院しながらも稽古を中断することなく、新たな技の展開に余念がありません。その、まったく気負いや力みを感じない柔らかな立ち振る舞いは、生涯学習の見事なお手本の一つだと思っています。



景観に魅せられて

みそら野 金子 靖夫

白馬に住みついて三年経つ。来る前、富山で仕事をしていて、季節の休みに148号線経由で東京に帰る都度白馬を通った。眼前に迫ってくる北アルプスの景観は、ドイツにいた頃訪れていたオーストリアのチロル地方の景色を髣髴とさせた。"これぞ終の棲"と定年を迎えるとすぐ白馬に来了。四季の彩りは見事なもので、それは歌舞伎の早変わり舞台のようにパッと目の前に現れる。雪の降る音を、ここで初めて聞いた。

世界中で歌われているクリスマスキャロル“きよしこの夜”は、チロルのザルツブルクのすぐ近くのオーベルンドルフ (Oberndorf) という人口5千人ほどの白馬のような小さな村の教会で、地元に住む牧師さんと、友人の音楽教師の作詞作曲で誕生した。真白な雪景色にぴったりの美しい曲だ。白馬にもこのようなキャロルが生まれ歌われたら、どんなに素晴らしいことか。それも村民の作詞作曲で。

クリスマスがくる度に、そんなことを夢見ている。



白馬の将来に思うこと

新田 松沢 正明

「十人十色」、人それぞれ考え方が違うのは、今も昔も同じであるのに、勢いのあった十数年前と何かが違う。

地域が望む住民共通の環境整備が進み、生活しやすくなった反面、「普通の暮らし」を営むために必要な費用が増え、また日本経済の不況で、自身の生活に余裕がなくなったからなのか、自己中心的な意見が多いと感じるのは私だけだろうか。

村政に対して、村民の義務を最低限度はたせる生活の安定、景気回復への努力が更に必要だと考える。

平成の大合併で自立の道を選んだこの村は、これから何に力を入れ、住民に何を求めるのかという明確な政策が打ち出されて当然だと思われる。

まずは個人・地区単位でできることを始め、特色ある村づくりを住民主体で行う大切さを感じ、「小さな輪から大きな輪にする知恵」が必要だと考えている。

編集後記

白馬連峰は初雪を冠り、足早に過ぎる季節の移り変わりを気にしながらの収穫時、稲刈りが済んで、刈田が並ぶ風景もまたひとつの風物詩。今年の米は、カメムシの被害も少なく、収穫量も平年を越えて上々、ご苦労が報われる時でもありません。新米はうまいなど悦に入っている矢先「学校給食に事故米混入」の報道、汚染された米を食品に混ぜて加工し、安く販売したものであるが、給食に使用した理由が「給食費を抑えるためには必要だった」ではあまりにも悲しすぎる。

高橋賢一記

議会報調査編集

特別委員会

議長 西澤 功
委員長 柏原 孝至
副委員長 渡辺 俊夫
委員 池田 和良
小林 英雄
太谷 正治
宮尾 幸典
高橋 賢一